



みさと

No.48

2016. 10

美郷町議会だより

笑顔一杯の運動会 (大和小学校・都賀保育園)



第3回定例会報告	P 2 ~ 8
「第2次美郷町長期総合計画」策定..	P 4 ~ 5
平成27年度決算を認定	P 6 ~ 7
一般質問 - 8人登壇 -	P 9 ~ 16
委員会室	P 17

手前味噌ですが…	P 18
議会活動報告 (H28年7月～)	P 18
住民の声	P 19
議会Q&A	P 19
議員ひとり歩記	P 20
編集後記	P 20



第2次長期総合計画 基本構想を承認

平成28年美郷町議会

第3回 定例会報告

9月補正予算の状況 (単位：千円)

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	6,518,865	175,918	6,694,783
住宅新築資金等貸付	2,359	-	2,359
簡易水道事業	386,337	4,800	391,137
下水事業	260,801	4,683	265,484
君谷診療所	5,262	-	5,262
国民健康保険	809,942	0	809,942
国保診療所	88,343	120	88,463
後期高齢者医療	188,082	-	188,082
合計	8,259,991	185,521	8,445,512



早期の復旧が望まれる災害現場 (大邑榎谷道路)

予算案

一般会計補正予算は、7月3日に発生した豪雨災害の復旧費1億9600万円などが提案。

一方、産業育成機関である「みさとカレッジ」については、当初予定していた、新たな法人設立による運営を見送ったことに伴い、委託費などの関連費、7

400万円を減額及び組替え。特別会計については、上下水道事業は、経営戦略業務委託費の増、その他の特別会計は、前期の事業動向による、予算組替え補正が主な内容。

長期総合計画 10年後の人口目標を4000人へ

長期総合計画

※4〜5ページに特集掲載

美郷町9月定例会は、9月6日から16日まで開催され、条例案4件、予算案5件、一般事件案7件の提案があり、原案通り可決・承認されました。今回の定例会には今後10年間の長期総合計画の基本計画案や、議員提出した参院選の「一区」解消などを求める意見書案も承認しました。

条例案

■ 条例案の一部を改正する条例の制定

住民税、法人税等の修正申告があった場合の延滞金取扱方法の改正

■ 国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定

国保税の算定及び軽減判定に用いる総所得金額に関する改正

■ 貸付金の返還免除に関する条例の制定

青年農業者等早期経営安定資金貸付者に対し、一部または全額の返済を免除する条例の制定

■ 中小企業・小規模企業振興基金条例の制定

中小企業、小規模企業振興を総合的、恒常的に推進することを定めた条例

一般事件案

第2次長期総合計画基本構想
今後10年間の長期展望に立つて、新たな地域づくりの指針を策定。 ※4～5ページに掲載

財産の取得の変更

6月議会で議決された、国道375号の歩道整備による、財産取得の条件に変更が生じたことによるもの。

道路線の認定

路線名 湯抱別府線
国道375号湯抱工区が完成し、供用が開始された区間の旧国道区間を町道に認定するもの。

固定資産評価委員会の委員の選任

同意 住吉敬司氏（浜原）
同意 福島 巧氏（村之郷）
同意 高橋智恵氏（千原）

平成27年度歳入歳出決算の認定を求めること

一般会計及び7件の特別会計の決算認定案件。

※6～7ページに掲載

議案質疑

貸付金の返還債務の免除に関する条例関係

5年で免除

問 5年間経過すれば債務の額に関係なく免除するののか。

産業振興課長 免除の範囲があり、5年間専業的農業に従事した場合、債務の全部または一部と規定している。

中小企業・小規模企業振興基金本条例関係

4者が連携し計画

問 責務として中小企業・小規模企業の振興に関する施策を総合的かつ計画的に策定するとあるが、具体的な計画があるのか。

産業振興課長 島根県は小規模事業者の条例を今年から施行しており、基本的な方針を立てている。町と商工会、事業者や住民の4者が連携し計画を立てていきたい。



基本条例の中心となる商工会

平成28年度美郷町一般会計補正予算第2号関係

きのこの里づくり事業 250万円

問 農業振興費のきのこの里づくりの予算補助金250万の詳細は。



きのこの里づくり事業 菌床椎茸の栽培

産業振興課長 きのこの里づくり事業は平成28年度から始まった島根県の助成事業で事業費は500万円を予定しており、県と町を合わせた2分の1の250万の補助金を支出するものだ。6月1日に設立をされた農事組合法人が、菌床椎茸の栽培を始める。

問 定住推進費空き家対策の内容は。

定住推進課長 空き家改修を対象に上限限度額50万円です軒分を計上した。当初予算は既に3軒分消化した。

美郷町第2次長期総合計画基本構想

地域の小さな拠点 8カ所

問 ①地籍調査は済んでいると理解しているが、また進めるのか。

②インバウンドの導入で特別この外国人誘致向けの施策、考え方があるのか。

③暮らしやすいコミュニティの形成という項の中で、

小さな拠点づくりがある。

28年に粕刈地域で1カ所実施し、残り7地域を確実にやるということか。

住民課長 ①今年度で地籍調査現場をすべて終了する予定だが、29年度以降は、書類の関係、管理の関係がある。調査という面では28年度で一応終了予定だが、この計画そのものが28年度を含んだ計画になっていくので、計画的に進めるとした。

企画財政課長 ②国策的に外国人、インバウンド観光客の誘致があり、記述した。

③暮らしやすいコミュニティの形成、地域の小さな拠点づくりは、県と国の2つの流れがあり粕刈の地域の拠点づくりは県の事業だ。

8カ所についてそれぞれの連合自治会、地域と話し合い進めていきたい。



第2次長期総合計画書

選択と集中

平成37年 目標人口
4,000人

総合戦略

1
雇用環境の
創出

2
移住の促進
社会増の
実現

3
結婚・出産・
子育て環境の
向上

4
暮らしやすい
コミュニティの
形成

分野を横断した連携による一体的な施策推進

I. 快適な暮らしを
実感できるまち

国道375号湯抱バイパス



II. 産業を創出するまち

リースハウス事業 村之郷

新たな美郷町の地域づくりの指針として、平成28年度から10年間の長期展望に立った、「第2次美郷町長期総合計画」の基本構想が策定されました。

今後の基本構想を

政策評価 目標管理

協働の役割明確化

III. 心豊かな人づくり

図書館 みさと本の森



第2次長期総合計画

10年後の人口 4000人へ

まちづくり
の
理念

まちづくり
の
基本方針

「わたしたちのまち」のために考え、ともに行動するまちづくり
誰もが挑戦できるまちづくり
地域の個性を生かすまちづくり

水と緑

いきいき輝く夢あふれる協働のまち

めざす
将来像

美しいまち・ひと・くらしが
つながるみんなの美郷

第2次長期総合計画

I 生活基盤 利便性の高い快適な暮らしを実感できるまち

- ①道路交通網の整備 ②土地利用と市街地の整備 ③生活環境の整備 ④情報・通信の整備
- ⑤環境衛生の充実 ⑥消防・防災・防犯の強化 ⑦自然環境の保全と活用

II 産業・雇用 人と地域の個性を活かした産業を創出するまち

- ①地域産業の活性化と新産業の創出 ②農林水産業の振興 ③商業・工業の振興
- ④観光・レクリエーションの振興

III 教育 美郷町を担う心豊かな人づくり

- ①社会を生き抜く力の育成 ②未来を担う人材の育成
- ③絆づくりと活力あるコミュニティの形成

教育振興基本計画

IV 健康・福祉 生涯を通じて健康で安心できるまち

- ①保健・医療の充実 ②社会福祉の充実 ③高齢者福祉の充実 ④障がい者（児）福祉の充実
- ⑤児童福祉の充実 ⑥母子・父子世帯福祉の充実 ⑦生活困窮者福祉の充実
- ⑧人権を尊重し、差別のない社会の実現

V 住民自治 連帯の絆で支え合うコミュニティのまち

- ①地域自治の充実と協働の推進 ②定住対策の充実
- ③効率的な行政運営 ④財政運営の安定化

地域コミュニティ計画

住民とともに歩む行政づくり

行政経営
の
考え方

- ・住民との情報共有を積極的に進めます
- ・住民の視点に立ち、質の高い行政サービスを提供します
- ・目標と成果を重視し、経営効率の高い組織をつくります



V. コミュニティのまち

沢谷元気祭り



IV. 健康で安心できるまち

保健師による健康講座

91億円の使い道を検証

91億7890万円

89億5473万円

決算を



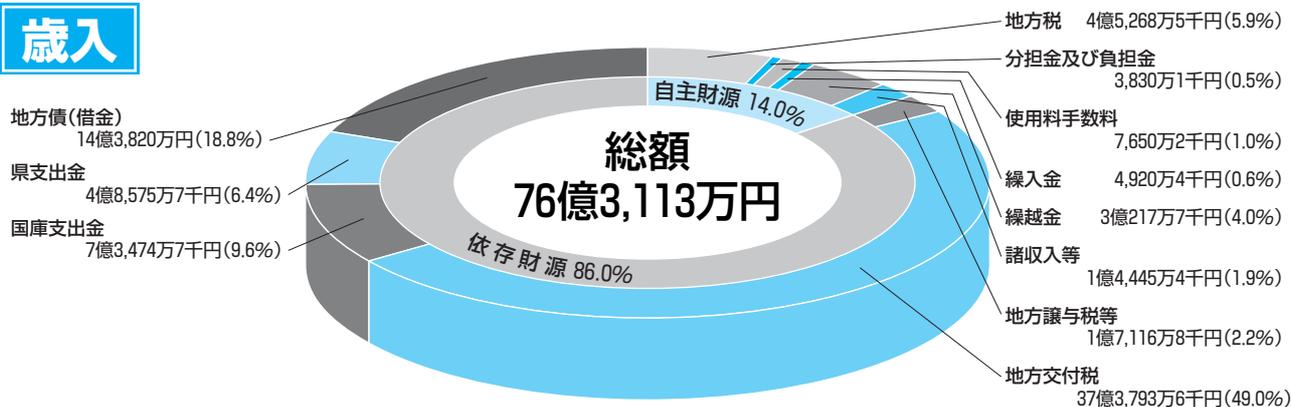
決算の状況

単位：千円（端数切捨て）

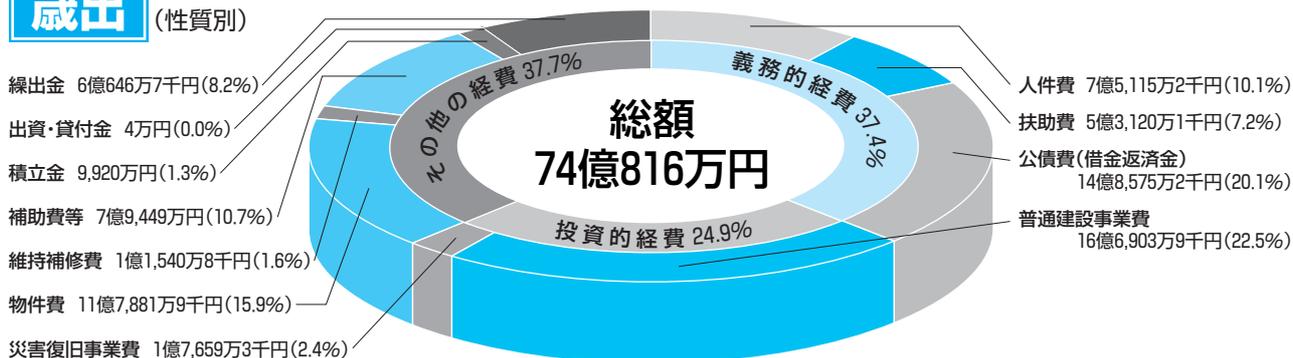
会計名	歳入 (A)	歳出 (B)	差額 (A)-(B)	繰越財源 (D)	実質収支額 (C)-(D)	
一般会計	7,631,131	7,408,161	222,969	6,012	216,957	
特別会計	住宅新築資金等貸付	2,505	2,348	156	0	156
	簡易水道事業	250,201	250,150	51	0	51
	下水事業	248,596	247,698	897	0	897
	君谷診療所	5,311	5,307	4	0	4
	国民健康保険	785,740	785,740	0	0	0
	国保診療所	72,746	72,654	91	0	91
	後期高齢者医療	182,671	182,671	0	0	0
合計	9,178,904	8,954,732	224,172	6,012	218,159	

一般会計決算の内訳

歳入



歳出 (性質別)



基金の状況

単位：千円（端数切捨て）

基金名	26年度末	増減額	27年度末
財政調整基金	1,147,730	20,256	1,167,987
減債基金	640,829	209	641,038
江の川下流域活性化基金	26,083	-1,493	24,590
地域福祉振興基金	216,970	108	217,078
ふるさと土と水保全対策基金	9,426	-1,601	7,825
過疎対策基金	17,680	-17,491	189
公共施設維持管理基金	538,412	-6,491	531,920
地域振興基金	1,112,684	52,753	1,165,437
がんばれ美郷町寄付基金	4,594	1,361	5,956
電子機器管理基金	92,559	26	92,585
地域雇用創出推進基金	30,043	7	30,051
園芸作物振興施設管理基金	-	2,352	2,352
土地開発基金（現金）	24,828	6	24,834
鴨山記念館収蔵品取得基金	7,320	1	7,322
小計	3,869,164	50,006	3,919,170
国民健康保険基金	25,457	-23,170	2,286
簡易水道事業基金	7,718	1	7,720
下水道基金	3,901	1	3,902
小計	37,076	-23,167	13,909
合計	3,906,241	26,838	3,933,080

歳入総額

歳出総額



基金の
町民一人あたり残高

778,673円

H28年3月末住民基本台帳
人口5,051人で算出

健全化判断比率の状況

（単位：％）

※実質公債費率

家計に例えると、年収に占める年間の借金返済額の割合。借入に当たり18%以上は許可、25%以上は制限をうける。

※将来負担比率

家計に例えると、負債残高が年収の何年分に相当するかを示した割合。350%を超えると、財政健全化改革の作成が必要となる。

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	※実質公債費率	※将来負担比率
	-	-	13.1	63.9
早期健全化基準	(15.0)	(20.0)	(25.0)	(350.0)

実質赤字比率、連結実質赤字比率は黒字のため「-」表示です

決算審査 決算結果の意見

代表監査委員 矢渡 升

監査委員 藤原 修治

■審査結果

審査に付された一般会計及び特別会計の歳入歳出決算書、実質収支に関する調書、財産に関する調書は、それぞれ所定どおり作成されており、決算計数は関係書帳簿及び証拠書類と照合した結果、いずれも相違なく適正であると認められた。

■決算全般について

多機能コミュニケーションセンター建設に伴い、歳入歳出額が対前年比で大幅な伸びとなった。今後、地方交付税や自主財源も減少が予想される中、歳出の抑制が財政運営の鍵である。

財政は健全化の傾向にあるが、地方債や債務負担行為の設定は、当該年度の債務支払額を下回る財政規律を確立することが、若

**若者や子供たちの
債務負担を増やさない
財政規律の確立を**

者や未来の若者に対しての使命であり重要な視点である。

○収入未済状況

初めて2億円を突破し見過ごせない状況にある。

未納者に対する預金差押の実施は、収入額の増額効果は薄かったが、納税義務周知の効果はあったと思われる。

また、安易な不能欠損処理は、各種徴収金の不公平感を生み、厳に慎み最小限に抑えるべきである。

○図書館会館

初めての図書館運営にも関わらず、開館後は順調な利用状況が数字になつて表れており、関係者の努力が認められた。



審査状況 7月25日～8月9日(14日間)

8人登壇 一般質問

質問の内容

1 籟根 正一 議員 9P
①防災対策について

2 藤原 修治 議員 10P
①「プレミアム付き商品券」で地域の消費喚起を

3 山本 幹雄 議員 11P
①三江線の今後はどのようにするのか

4 福島 教次郎 議員 12P
①大雪対策の方向性は

5 栗原 進 議員 13P
①観光事業の取組について
②大和地区へ防災ヘリポートの設置について

6 岩根 和博 議員 14P
①災害復旧工事と安全対策について

7 黒川 民次郎 議員 15P
①道の駅EV充電器の利用状況
②美郷町の観光イベント

8 佐竹 一夫 議員 16P
①スローガンの実施状況は
②国道375号線の未整備区間の整備を
③ライブカメラにライトを
④産業祭の実施場所は

記事の内容

質問した議員が自分の責任において、要約・整理したものを掲載しています。

各議員の質問の状況は、美郷町ホームページで閲覧できます。

発議・発委

■参議院選挙における合区の解消を求める意見書

9月16日最終日には、議員発委による意見書が1件提出され、全会一致で可決されました。

意見書は、内閣総理大臣をはじめ各機関へ送付しました。

参議院選挙における合区の解消を求める意見書

我が国の都道府県制度は、地域の生活文化に根ざし、定着した地方自治の根幹です。

加速度的に進む人口減少と一極集中の是正に向け、我々は地方創生に期待し、地域の存続をかけて懸命に取り組みを始めたところです。

しかし、参議院選挙における選挙区の合区は、地方の住民に、地方の声が国政に届きにくくなり地方切捨てにつながるという危惧と都道府県単位で国政に代表を出せる県と出せない県が生ずるといった新たな不平等をもたらしました。

国会及び政府におかれては、合区を解消し、都道府県を選出区分とする選挙制度の原則を堅持して地方の声がきちんと国政に反映できる仕組みを構築されるよう強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年9月16日

鳥根県邑智郡美郷町議会

請願・陳情

陳情の要旨（陳情者）	付託常任委員会
------------	---------

美議陳第2号
上野地区急傾斜地対策事業の継続について
(上野連合自治会長 西島 進)

産業建設委員会



上野急傾斜（県営）

陳情の要旨（陳情者）	付託常任委員会
------------	---------

美議陳第3号
若者定住住宅の建設について
(沢谷地域連合自治会長 福間 秀武)

総務委員会



住宅建築予定地(九日市地内)

審査の結果2つの陳情共に全会一致で採択

※議案の賛否

提出された全議案は全員賛成につき、議員別の賛否表は掲載しません。



旗根 正一 議員

警戒区域の再点検で 安心・安全な暮らしを

ハザードマップを、今年度に作成し公表

問

近年は、地球の温暖化による影響によるものか、時間雨量が50ミリ以上降り続くゲリラ豪雨が、全国各地で観測されている。

去る8月末には、台風10号の影響により、岩手県、北海道で記録的な大雨が降り、甚大な被害を受けた。

広島土砂災害から2年が経過し、29基もの砂防ダムが完成し、復興に向かっていく。

美郷町では7つのエリアに分けて、土砂災害ハザードマップを平成26年に作成し、各戸に配布している。土砂災害警戒区別が色分けされている。

その中で、土砂災害警戒区域、イエローゾーンは、土砂災害防止法に基づき、土砂災害が発生した場合に、住民の生命や身体に危険が生ずるおそれがあると認められる区域とされているが、美郷町のハザードマップを見ると、ほとんどの区域が、イエローゾーンとなっている。

今後、想定外の大雨が降った場合、広島土砂災害と同様に甚大な土砂災害がどこで発生してもおかしくない地形にあると思う。

現在上野地区で、急傾斜地対策事業が行われ、引き続き継続の陳情も出ている。

防災事業を今後も継続して進めていく必要があると考える。

行政として災害マップに示されている警戒区域の再点検を行い、土石流急傾斜地すべり対策を国、県に要望活動を行い、安全で安心して暮らせる環境づくりに努めることが大切だと考えるが町長の所見を伺う。

町長 全国各地において、甚大な災害が発生している。

町では、「土砂災害警戒区域」を対象に、「レッドゾーン」と呼ぶ「土砂災害特別警戒区域」の調査を行っている。

これは、土砂災害の発生が予想される地域の土地開発の規制や、住民に対して的確な情報提供を行うための調査である。想定を超える被害が発生しているため、昨年7月に水防法の改正が行われ、江の川においても千年に1度の大災害を想定した浸水想定区域等の見直しをした。



整備された急傾斜地対策

町として、これらの情報をわかりやすくまとめた水害ハザードマップを、今年度に作成し公表する。

ソフト事業を推進する事で、行政と地域住民が一体となって生命財産を守るための取り組みを進めていく。

ハード事業として、町内全域において急傾斜事業及び砂防・治山事業を島根県により実施している。地すべり対策は、旧邑智地域で耕地地すべり第二期事業を実施中で、継続的に対策を講じていく必要があると考えている。

県、国への事業の継続実施を要望していきたい。

建設課長 地すべりの対策はどのようになっているか。

耕地地すべりは県の事業として進めている。

問

想定外の豪雨時に、災害が発生する危険箇所を早期に把握とはどのようにするのか尋ねる。

建設課長 砂防関係、急傾斜関係の危険箇所の把握は県事業となるので、治山、砂防、急傾斜すべて農林関係と公共関係と役場の3者で現地を歩いて調査する。

危険箇所の把握は早期に

三者で現地調査する

邑智地すべり協議会で集約し、緊急度合いに合わせ順番づけをし、事業を実施している。急傾斜、砂防、治山すべて同じような形だ。レッドゾーン調査はソフト事業で、局所の災害から住民の生命、財産を守る方法を進展させたいという国の考えで、ハード事業が出来ないので、自助努力で生命財産を守るための情報提供を行う調査である。

やはりハード事業も進めなくてはならないが、急傾斜については、国庫事業の条件に当てはまるところがないので、県単で計画すると島根県から回答をもらっている。

県は次期の年度計画については、村之郷に急傾斜を設置したいという考えを持っている。砂防事業も順番づけをお願いしている。



ハザードマップ



藤原 修治 議員

プレミアム商品券の今後と 売出し数量・方法に検討を

発行数量は検討価値があると考える

問 商工事業者の存続や、意欲ある事業者が成長し、活力にあふれる美郷町を築くためには、プレミアム商品券の発行により、事業者を地域全体で育て支援していくことが重要と考ええる。

美郷町では、この取り組みが継続的に行われ、景気対策や生活支援からも、町政の有意義な施策と認識をされている。

商工振興の定番施策になった感がある、商品券発行についての今後の考え方と、売出し数量や方法について、まだ検討の余地があると思うが所見を伺う。

町長 商品券の発行は、平成30年度まで実施予定で、町内の消費喚起や生活支援につながる効果を期待をしている。

昨年アンケートでは、新たな消費につながった金額は2000万円近くとなる。購入者の全体からは、これ以上の金額が新たな消費につながったと考えており、消費拡大に貢献する施策であると確認できた。

発行予定は、現段階は今後2年間としているが、発行数量は、より経済効果を発揮するように、検討価値があると考えている。

問 商品券の良さが町民に行き渡り、売出し即完売になった。町内全域の方々が、広く買われたのか状況を伺う。

商工費増額を来年度に配慮を 期待に添いたい

問 今年度の予算の中で、商工費は0.6%ということである。来年の予算編成の前だが、企業振興の条例制定や、町内企業の大きな倒産もあったことを踏まえ、来年への意気込みを伺う。

町長 これだけの皆さんに喜んでいただいているので、来年度予算で期待に沿うようにしたいと思う。

問 この財源は過疎債だが、過疎債の仕組みについて、説明を願いたい。

町長 今回は全地域で購入いただいた。世帯の約30%が購入されたことになる。

企画財政課長 過疎債は、主にハード事業等が活用され、中山間地域の財政の不公平感を緩和する施策だと思う。ソフト事業も、いろいろな施策として取り組んでおり、このプレミアム商品券を近年取り組んでいる。



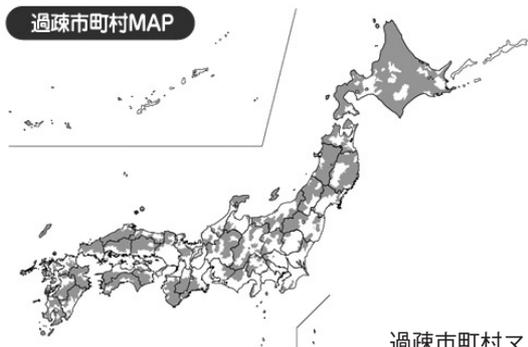
過疎債で実質20倍以上になる 経済効果を活用すべき

意見 私は、「借りた金額に対して7割が交付税措置で返ってくる、実質的には3割負担だ」という仕組みの答えをいただきました。

例えば、今年度1200万円

過疎債を借りれば、実質的には3割だから、360万円になる。これでもって、買い物額が20倍になる商品券の売り出しにより、町内の商工業へ7200万円以上の経済効果が出る。

過疎市町村MAP



過疎市町村マップ

この仕組みを使わない手はないわけであり、この金額を500万円ぐらいに持っていって、1億以上の経済効果を上げていただきたい。

町内の事業者の方々の自助努力はもちろんだが、こうした施策によって、事業所を地域全体で、育て支援していくことが重要だと思う。

店舗改修とか備品購入とかの助成施策があるが、所詮は物を買っていただかないと、意味がないことであり、「とにかく町内消費の拡大を図る」とこのことを目指して商工振興を図るべきだ。



山本 幹雄 議員

バス路線転換で重要な課題は

公共交通の空白期間につくらない

問

9月1日、JR西日本は三江線を廃止すると正式に表明した。

昨年10月、廃止の報道を受け様々な存続のための取り組みをしたがその効果はなかった。

三江北線として開業して以来、80年の役目を終える。今後JRは廃止へ手続を進め、1年後に三江線はなくなる。

これまでの期成同盟会の協議の経過からして、バス路線へ転換ということになると思う。新たな協議会で具体的なバス転換の運行ルートや運行方法、運行主体など協議が開始されるが、何が一番重要な課題になると考えているのか尋ねる。

三江線をそのまま廃止するのは残念である。本当に存続の方法はないのか伺う。

町長 三江線改良利用促進期成同盟会の第4回臨時総会で、JR西日本米子支社の松岡支社長は、「JR西日本として三江線の鉄道事業は、どのような形態であっても行わない。鉄道事業の廃止届出は平成28年9月31日までに「行おう」と説明があり、JR三江線の廃止が表明された。

これまでの検討結果では、自

治体で鉄道事業を行うことは、初期投資、運行経費等に多額の費用が必要となり、新交通プランに移行することが最善の方法であると考えている。

協議の進展によっては、廃止の期日までにバス等の準備の遅れで公共交通の空白期間を作つてはいけない。廃止後のJR三

江線の施設の撤去、管理、特に線路敷きの法面等の管理も重要な課題である。

浜原・三次間を観光線で残せ

交渉の中で話してみたい

問 歴史的な財産がなくなるといことが、耐えられない。

地域住民の足としての役目は終わったと、鉄道の専門家であるJR西日本が言っているから地域交通としては無理だろうと思う。

観光客を取り込むアイテムとして活用するならば、利用価値はある。観光協会等が合同で協議した中で、三江線ではなく観光線という形で残したらどうかというような議論もあつたと聞いている。

観光で活かせるならば、浜原から

駅舎、停留所はシンプルに

華美な施設は将来負担

問 バス転換後、維持経費を抑えることが住民の足として継続できる。初期投資で

駅舎、停留所等は、シンプルなもので、維持管理費が掛からないものにしておくべきと思う。

額と運行経費の一定期間の支援をするとJR西日本は言っている。

持続可能なバス路線、利便性も向上するバス路線ということでは大事なことで、最初から華美な施設は、支援が切れると運営

上下分離方式、みなし上下分離方式のいずれかを選択にしても、国、県の支援が見込めない中で、自治体が三江線の運行をするには多額の費用を伴い困難である。

今後の住民の生活、交通確保のため、町一体となつての取り組みが重要と考えている。

ら三次までを残し、特区の申請により広島側からの観光客を取り入れる方法はいかがか。

町長 三江線として残していく観光面としてから見た提案であるが、JRは廃線を決めており受け入れてくれないと思う。

広島方面からの観光は、大きな成果があるわけで、要望をJRとの交渉の中で話してみたいと思う。

は町になるので十分な検討が必要だ。



クズ対策などの跡地管理が大きな農業問題になると思われる沿線の状況



福島 教次郎 議員

大雪対策の方向性は

地域防災計画・雪害応急対策を見直す



自主防災組織による机上訓練の様子

問

本年1月の大雪は、本町に甚大な被害と大雪対策への試練を与えた。

今後の雪害対策として、民家の孤立や孤立者の安全確保、また、高齢者社会から生まれてくる様々な災害対応について、今後どのような考えを持って対処する考えか方向性を伺う。

町長

地域防災計画は、災害予防と雪害応急対策を柱に構成している。今後、住民の皆さんへのライフラインの保護の事前周知、自治会、消防団との連携や情報を共有したい。さらに空き家における漏水被害が多かったため、空き家情報を関係課と共有する体制づくりの必要性を感じており、雪害応急対策にも盛り込む予定である。

問

孤立者の安全確保は、どのように対処されるのか。孤立状況となった場合は、食料や燃料を調達する支援の考えはあるか。

停電が起きると、電話回線は使えない。携帯電話も、不感地域へは連絡体制が全くできなくなり、孤立することになる。対処方法として、「衛星電話」があるが、その衛星電話の訓練や機器の点検はどのように行われているのか。

問

月の大雨災害に備えた時期・9月台風シーズン・12月の大雪の各シーズン前に集落へ出向き、機器の点検、通話の訓練を行い、非常時の対応に備えて行きたい。

建設課長

現場の把握が急務であり、除雪を早目にやるしかない。そのためには、現場把握が一番重要であり、職員を派遣して、実際に現地を見て回ると

要援護者対策は、災害時支援制度に基づき、高齢者、障がい者等の方が、地域の中で避難の支援が受けられる体制づくりを行っている。

総務課長

孤立安全確保は重要な問題であり、規模・内容に応じた対応が必要と考え、緊急時には、町の方で非常食や水を備蓄し提供も考えている。避難所の設置や燃料については、必要に応じて検討していきたい。

「衛星電話」は孤立が想定される7集落に配備しており、6

既に避難訓練を実施し、避難経路、避難場所の確認

というのが現状である。他にはスマートフォンに美郷アプリがある。写真や位置情報が発信できるこのアプリは、落石対応・道路点検をはじめ、豪雪時にも通

用すると思っている。地域の方々から、どんな情報を頂き、今後の道路維持管理に生かしていきたい。



7集落に配備されている衛星電話



栗原 進 議員

出雲大社本殿の 「心の御柱」を観光事業に

パワースポットとして取り組む

問

町長は「美郷町には、観光となる名所、旧跡は少なく、着地型観光は難しい」とよく言われるが、観光事業は発掘し、作り出すことも必要と考える。

出雲大社は、平成の大遷宮をほぼ終え、当時ほどの混雑はないが今だに賑わいは変わらない。出雲大社の国宝である本殿の「心の御柱」が、美郷町より切り出されたと聞いている。観光事業として取り組んでほしいと考えるが、町長の所見を伺う。

町長 着地型観光は、着地側が地域資源を活かした体験プログラム等を企画、運営するものである。

出雲大社本殿の「心の御柱」は、1744年に造られた現在の本殿の御柱9本の中心となるものである。

この「心の御柱」は、古文書によれば、石州邑智郡都賀村八幡宮から江の川、日本海経由で出雲大社に運ばれたと記載があり、都賀本郷の松尾山八幡宮の木と推察される。

仮にその通りという事であれば新たな観光資源であり、観光スポットとして大いに期待できる。

問

「出雲大社」という本の中に延享元年の造営記録があり、出雲大社周辺には大きな木がなく、本殿の柱は、隠岐や四国から取り寄せ、心柱（心の御柱）は美郷町から出たと記述がある。

出雲大社社務所に確認を取ったところ、間違いなく「心の御柱」は美郷町から出たと回答があった。観光事業として取り組むべきと思うが伺う。

町長 事実関係は、文献に基づきはつきりしているが、途中が分からない。専門家により調査していく。

問 本殿は国宝であり、出雲大社は、結びの神様でもある。美郷町をパワースポットとして婚活などに使ってはどうか。



出雲大社本殿

定住推進課長

婚活は、出雲の結婚式場を舞台として年3回行っている。

美郷町に出雲大社を縁とし

大和地区へヘリポートを 候補地を調査し整備する

問

大和地区へのドクターヘリ場外離着場の整備について、27年定例会で「早急に整備をしたい」と答弁された。未だに整備はされていないが設置に向けてどのように取り組んでいるか伺う。

町長 大和地域の場外離着陸場設置について、早急に整備を検討すると回答している。

消防署大和出張所に近い、長藤地域及び都賀本郷地域を中心に候補地選定し、調査を行ってきた。

いずれの候補地も電線、道路、橋、鉄道等によりヘリポートの設置基準に適さない場所とされ、順調に進んでいない状況である。

当面は、現在の離発着場を有効に活用していただくことになり。引き続き候補地の選定調査を行う。

問

設置場所も決まっていないうちにあるが、ドクターヘリの運行は、この中山間地の救急医療において画期的な事業である。患者は、1分1秒でも早く救急医療が必要である。早急に整備をお願いする。

総務課長 現在、都賀西地域にある農産加工所の裏に町有地を持っている。

面積的に問題はないものの、ヘリコプターの進入角度などの基準と周辺の建物の状況について消防署と現地を調査する。



島根県ドクターヘリ



岩根 和博 議員

災害復旧工事の見直しが必要では 河川の復旧工事は改修で対応



7月豪雨により浸水した水田

問

平成25年8月の集中豪雨により、各地で被害が発生した。この災害復旧工事が進められている。しかし、今回の豪雨により再び水田や家屋への床下浸水等被害が発生した。災害復旧工事は原形復旧が原則とのことだが、道路・水田等には問題はないものの、河川については堤防を越えて浸水するため、原形復旧では再び浸水被害が発生している。

安全で安心して暮らせる町にするためにも災害工事の見直しが必要と考えるが、町長の考え方を伺う。

町長

通常の災害復旧工事は、原形復旧が原則で、道路・田畑や河川も同様である。ただし、周辺・関係部分の対策等で改善できるものについて、工夫しながら対応している。護岸を超えて浸水を繰り返す場合

は、根本的な対策が必要で、この場合は災害復旧工事より河川改修を計画した方がよい。この場合用地の提供が伴うため地権者の協力が必要となり、地域で話をまとめて要望して頂くと国・県への事業要望もスムーズになると考える。

問

河川の災害復旧工事を終え再び超えて浸水した箇所数は全体でどのくらいあるか。

建設課長

田畑の浸水箇所や面積については把握していない。この度は、尻無川の別府地内、小松地にかけて川の沿線はほとんど浸水している。現状を現地で確認をしていたが、特に下流の特定な場所例えば戸風呂谷との合流地点は川が90度に曲がり、角にある水田は、3分の2くらいは浸水していた。

問

今回は、大田市水上・君谷地域・別府地域が集中豪雨に見舞われた。田畑・道路・床下浸水等の被害防止に嵩上げ工事がなされたのか、災害工事の設計や査定はどこでするのか。

建設課長

査定は、河川では水害のハイウォーター、水がどこまで上がったのか、痕跡を求めて私たちが測量する。現場で

木片やごみの引つかかった状況で水位を想定する。既設の護岸があればその背後地の形状に応じ高さを決める。

問

災害工事を見ていると、水路堰で通常水が流れる所が川の底で、そこまで砂利等を除かずに測量をし、工事をしていないために再び雨が降れば浸水する。はるか上流から水が入っても、既存がここまでなので、これ以上のことはしないとされる。この不安を除く工事はして頂けるのか。

建設課長

基本的に水通し部分の一番低いところを、河川の底として、根入れをするため根入れ不足はない。ただし戸風呂谷については、単災害で、その年度、年度部分で行ったので、昔やったブロックが根入れ不足している所もある。

今回あちこちで浸水箇所が多くあるが、ポイント例として平成25年災害で戸風呂谷は住宅浸水があり、次年度に排水口が一つもないことが判明し、排水路を設けるよう計画したが、別府連担地の側溝が非常に不備のため、急遽設計を変更し別府全体の連担地排水を考え変更したため1年先送りになった。今の側溝修繕に合わせ河川の



再び浸水した家屋

問

災害報告を自治会単位で報告しているが、なかなか回答が来ない。報告を求めた以上、回答はすべきである。仮に完全に100%でなくても、経過報告で現在の進行状況を報告すべきと思うがどうか。

建設課長

これは自治会長会議で約束をしている。災害報告の受付は総務課で行い、受付番号を付け建設課へ、これを受け現地調査し、10月初めには査定できるよう準備している。

その結果を再び総務課に返し、公共災害、農地災害等を文書で自治会長に回答する。前回は災害が多く事後報告が無くお叱りを受けたが、今回はしっかりと管理することで総務課と協議している。



黒川 民次郎 議員

公用車の電気自動車導入は

導入予定はない

問

電気自動車は充電インフラが急速に広がる中、環境に配慮し走行中に排気ガスを出さない次世代のエコカーとして注目を集めている。

急速充電施設は、全国に6740箇所あり、中国地方の道の駅には約530カ所あり、県内の道の駅は約20カ所となっている。

その他自動車会社や公園、コンビニの施設などに急速充電器は数多くあるが、大和の道に設置された急速充電器の利用状況を聞く。また、役場も環境を考え、急速充電器の設置と電気自動車の購入する予定があるか伺う。

町長 道の駅の急速充電器は本年5月から共用を開始し、現在まで23回、約474分の充電使用実績となっている。

周辺の施設は国道54号沿い飯南町内に2箇所、大田市に2箇所、江津市に1箇所設置されている。

役場への整備と車両の購入については、公用車の環境対策として、ハイブリット車3台を保有しており、現在のところ充電

設備の整備及び電気自動車の導入をする予定はない。

問

全国的にハイブリット車が非常に多くなり、急速充電器は個人設置を含めると全国に約1万8000基あると聞いている。

自動車のランニングコストを調べると、公用車30台で月に20万

程度の燃料費の節減となる。再度電気自動車の購入を提案する。

町長 電気自動車の導入予定はない。

町の観光イベントの見直しをPRRや補助で観光地、地域づくりを推進する

問

① 現在行われている「尺アユ釣り大会」、「釣り大会」を一つにしてはどうか。

② 観光船の活用はこれからどうなるか。

③ 美郷町の伝統漁法である、「築」、「火振り漁」を観光資源として利用できないか。

④ 大和荘の建て替えの構想があるが、美郷町の観光資源と一体となった仕組みづくりが必要と考えるが。

町長 ①それぞれに主催者があり、町の立場でイベントを1つにするという考えはない。

観光協会などと、PRRや補助を行い、魅力ある観光地づくりや活力ある地域づくりを推進する。

② 観光船大和丸は、株式会社グリーンロードいわへ維持管理を指定管理委託しているが、平成25年3月に江の川の増水により破損し使用ができない状態となっている。

観光船を修繕し復活させ、四季折々の自然の彩りを満喫することができるダム湖周辺の遊覧を考えていたが、株式会社グリーンロードいわが、経費の担保がなければ観光船運行は困難としている。

新たな委託先を模索することを含め検討する。

③ 近年、川漁師の高齢化などにより、伝統的な漁法を行う人が少なくなってきた。

本年度、町観光協会は、サイ

クリンクとコラボレーションし、伝統漁法の一つであるキリ漁と鮎料理を組み合わせた体験プログラムを、漁師の協力により実施することとしている。

④ 大和荘は、食と自然空間を味わえる物心両面における保養の場として重要な役割を担っているべきものと考えている。

施設の在り方を将来にわたって見据え、立地環境やゴールデンユートピアをおおちをはじめとする他の既存宿泊施設との役割分担の視点から、大和荘の建て替えについては、耐震改修の必要のない鉄骨造3階建ての宿泊棟は残し、本館のみを解体し営業を継続しながら実施すると結論づけていたが、建て替えのコンセプトを再度検討する。



改築予定の大和荘



佐竹 一夫 議員

スローガンの実施状況は

具体的施策により進捗を図った

問 「水と緑いきいき輝く 夢あふれる協働の町」が合併時のスローガンであったが、この間の具体的な実施状況を伺う。

町長 合併後、地域が一体となった、よりよい町づくりを目指す基本理念のもと進めてきた。具体的には、合併浄化槽等の整備の促進、公共下水の適正な水質管理と共に汚泥のコンポスト化を民間事業者と連携し、肥料化等による資源循環を実現。葉草の栽培面積を2ヘクタールに拡大し、活用、販売を

検証している。

地域ブランドとなったイノシシは、皮革製品やソーセージなどの加工品開発などノウハウを蓄積し、さらには雇用に寄与したジビエ缶詰の新たな産業創出とした成果もある。

協働については、集落支援員や地域おこし協力隊、各種支援制度も新設した。

平成19年度から若者定住住宅建設を手がけ、将来の地域原動力となる若年層の定住を促進してきている。

375号線の未整備区間の整備を 早期完了に向け、県に要望する

問 国道375号湯抱バイパスが開通し便利になった。未整備区間の完了までの間、狭く、見通しが悪い部分の整備をしていただきたい。

町長 整備完了まで数年が必要であるが、危険箇所を中心に

優先的に工事が図られるよう早期の事業完了と併せ県に要望する。

建設課長 見通しの悪い場合は対応可能と思うので県に報告する。

ライブカメラにライトを 検証も必要、検討する

検証も必要、検討する

問 町はライブカメラを設置しているが、夜間の積雪の状況、雨の状況を暗くて見ることが出来ない。カメラにラ

イトをつけたらどうか。

町長 ライブカメラは、機能の範囲において画像提供することを前提としている。

夜間も見えるような照明設備は、1基約150万程度の費用が見込まれるため現状どおり運用したい。

問 ライトは防犯灯程度で十分だと思う。防犯灯の

設置費は。
総務課長 LEDの防犯灯で、柱込み約10万円程度である。
企画財政課長 検証することもあると思う。一考させて頂きたい。

産業祭の実施場所の決定の経緯は 実行委員会により決定された

問 産業祭は、役場裏の駐車場から粕洲の町の中へ、そして邑智小学校の校庭に変更されているが、場所を決定した経緯を問う。

町長 産業祭は、産業祭実行委員会が主催し、実施場所は委員会の協議により決定されている。

小学校校庭に移した経緯は、産業祭実施に関するアンケートで「会場が長くステージの催しが行かない」「音響が聞こえにくい」などの意見があったためである。

問 学校用地はなぜ禁煙になつているのか。また産業祭の場合、喫煙できるのか。

教育長 受動喫煙が増えているため、敷地内を全面禁煙としている。

また、産業祭であっても、学校の敷地内は全面禁煙であり、これを条件に使用を許可している。



禁煙が条件で開催されている産業祭

問 喫煙されている実態がある。禁煙の場所、そういう行事をやること自体おかしいと思うが、町長の考えは。
町長 禁煙であることを十分周知をする必要がある。何かの表示をした。

委員会室



総務委員会

動き出す 空き家管理事業

町開発公社（カヌーの里）では、「空き屋管理事業」を平成28年度新規事業として10月から開始されます。

この事業は、カヌーの里・職員白石健二氏（地域おこし協力隊員・我孫子市出身）が、空き屋等対策特別措置法が施行されたことに伴い、美郷町の空き屋に目をつけ、「空き屋相談士」の資格を取得され（有資格



管理の対象となる空き家

者は島根県内で白石氏一人だけです。）発案されました。

事業の内容は、建物の内外の清掃・傷みなどの修理・敷地内の草刈り・墓の管理等です。公社で出来ない業務は業者を紹介頂けるそうです。

現在、町内の空き屋状況は、個人情報保護法により空き屋の所在地・所有者特定が困難であり把握できていません。

今後は空き屋の情報をユートピアを利用している方や、定住促進課と連携を密にしながら利用者の募集を行いたいと仰っていました。

問い合わせ・ご相談は、カヌーの里

☎085517511860

白石さんまで

教育民生委員会

やります 出前図書館

平素から本にはおよそ縁のないと自負している者が、開館して1年になる「みさと本の森」に行ってみました。

取材に行くのだから本も借りようと、事前にもネットで目的の本をあるのか調べて見ました。受付で図書カードを作成し、借りたい本の名前を告げると、すぐに探していただきました。

オープンの時にちょっと見学しただけなので、ゆっくり見せてもらうことにしました。

ジャンル毎に綺麗に整理されていて、探しやすい環境になっています。興味があるのは農業関係、あります！あります！無農薬から有機まで、しっかりと揃えてありました。

登録者数は美郷町内で700人、来館者は開館以来2万人越えとのこと。新刊の購入も毎月約



蔵書は2万1千冊

100冊で蔵書総数は2万1000冊、うち児童書は7600冊あるそうです。

今日は雨が降っているので来館者は少ないとのことですが、老夫婦が本を探していますし、中学生が参考書を見ながら勉強していました。

「要望のあった大和事務所への出前図書館も10月から始めます。ネットによる予約方法の説明なども行いますので利用してください」と担当者の力強い言葉に「みさと本の森」を充実して行く姿を感じました。

この施設が美郷町の文化・教育の拠点になることを願うばかりです。

産業建設委員会

リースハウスを導入

農業が抱える深刻な高齢化・担い手不足を解消するため、本町の農業振興方針の一つとして、農業経営の転換・新規就農や若い農業者が取り組みやすくするためリースハウスを導入し、広く新規就農者（入植者）を募集し、定住促進が図られています。

リースハウスの特徴は、建設は役場が行うため、就農者は使用料を役場に納めることにより初期投資を大きく押さえることが出来、栽培開始当初から安定した経営が期待できます。

栽培品目はミニトマトを基本としていますが、ハウスは、温度・湿度等により自動で開閉・ファンが回転する空調管理が可能。また、肥料は養液栽培システムを取り入れ自動で灌水する優れものであり、骨組も今冬の大雪にもびくともしな

かったしつかりした構造となっています。

平成27年度には村之郷2地区にハウス2棟（998・4㎡）を建設し、（農）ファームむらじが本年4月よりミニトマト栽培を開始され、島根県・町・JA等の関係機関の指導のもと、農家の丁寧な栽培管理により順調に生育しており、事業計画の目標が達成できる見込みとなっています。

平成28年度以降については、村之郷1地区で8棟、杵谷地区28棟については徳島県から企業が参入し、10人程度の雇用が期待されています。



雇用創出で動き出したトマト栽培

手前味噌ですが…

全国の先進地 議会のペーパーレス化

議会のペーパーレス化を進めようと、県下はもとより、中国地方の町議会として最初に導入したタブレットも2年を経過した。

議会提出資料のコピー代や製本のための人件費が浮いてくるが、何と云っても紙資源や印刷機器の電力節減など、環境問題への貢献が大きい。

当初予算書など資料の重さは2kg近くになっていたが、重さはわずか600gほど。議会に提出



導入して2年になるタブレット

視察に来た多くの議会でも、若い議員はタブレットの導入に積極的な反面、高齢の議員からは無関心や否定が多いようだ。説明では扱いは簡単なこと、便利

された全ての資料のほか、インターネットで調べた独自の資料など、膨大なデータを納めることができるタブレットには感謝するしかない。

全国の町村に先駆けて導入したタブレット、お陰で視察の洗礼を受けている。

これまで美郷町へ山くじらの視察はあっても議会が視察を受けたことなど無かったが、東は京都から南は宮崎まで、全国から10件を超える視察が入った。



便利さを力説 視察状況

さを力説、視察に来たほとんどの議会で導入か前向き検討中と聞いている。タブレットの導入を検討するために、全員でガラ携からスマホにして、タッチ画面に慣れてみようという約束してから3年、ペーパーレスでは全国の先進地になった美郷町議会である。

議会活動報告 (H28年7月～)

日付	場所	活動内容	日付	場所	活動内容
7月			16	美郷町役場	議会運営委員会
1	美郷町役場	広報委員会	18	美郷町(みさと館)	広島県大崎上島町タブレット視察
4	美郷町役場	広報委員会	19	美郷町(カヌーの里)	協力隊との意見交換会
5	美郷町(みさと館)	山口県岩国市議会視察	20	飯南町(衣掛荘)	邑南飯南線改良促進期成同盟会総会
8	美郷町(みさと館)	世羅町議会視察			瑞穂・高野インターアクセス新銀山街道整備促進期成同盟会総会
11	美郷町役場	広報委員会	25	川本町(悠々ふるさと会館)	邑智郡町村議会議長会正副議長会議
11	美郷町役場	美郷町都市交流推進会議			
11	美郷町役場	全員協議会	28	美郷町(みさと館)	美郷町連合婦人会研修大会
12	広島市(広島合庁)	江の川下流域期成同盟 広島要望	30	美郷町(美郷町役場)	平成27年度決算監査報告
14	広島市(三次市河川国道事務所・広島県庁)	江の川改修促進期成同盟会・国道375号(大田・三次間)会長促進期成同盟会 広島要望	31	美郷町(ゴールデンユートピア)	川本波多線改良促進期成同盟会総会
		総合計画・行財政改革審議会	9月		
15	美郷町(みさと館)	美郷町観光協会定時総会	1	美郷町(みさと館)	三江線期成同盟会第4回臨時総会
18	美郷町(みさと館)	三江線改良利用促進期成同盟会第2回臨時総会	2	飯南町(衣掛荘)	邑南飯南線改良促進期成同盟会総会
19	美郷町(みさと館)	愛媛県砥部町議会タブレット視察	6~16	美郷町役場	第3回定例会
26~28	東京	江の川下流域期成同盟中央要望 国道375号(大田・三次間)会長促進期成同盟会 中央要望			8
8月			10	美郷町	邑智・大和中学校体育祭
1	大阪市	JR西日本訪問	13	美郷町役場	議会運営委員会
3	美郷町(みさと館)	美郷町人権・同和教育推進協議会第2回講演会	17	美郷町	邑智・大和小学校運動会
4	美郷町(みさと館)	安来市議会タブレット視察	20	美郷町役場	広報委員会
4	美郷町役場	全員協議会	21	邑南町(公立邑智病院)	邑智郡公立邑智病院組合議会
5	松江市	江の川下流域治水期成同盟会県庁要望	23	美郷町(みさと館)	三江線期成同盟会第5回臨時総会
10	川本町(悠々ふるさと会館)	邑智郡総合事務組合定例議会	25	美郷町役場	比之宮地域敬老会
			28~30	美郷町役場	広報委員会

住民の声

沢登りは感性と好奇心を目覚めさせ

沢谷地区 地域おこし協力隊 長野 陽介



2014年4月より沢谷地域おこし協力隊で活動して2年半が経ちました。私は、大学院を卒業間近に「地域に入って実践してみたい!!」と思い、就職難と呼ばれる時代に逆らうように内定を蹴り、周囲の人に止められながらも、決意固く不安と期待を持って美郷町に来ました。沢谷では主に地域行事や体験型ツアーリズムの企画運営に携わっています。その中で主に「沢登り体験」に力を入れて取り組んできています。



生き物観察に子供たちは夢中

この企画は、「沢谷には何も無い。」から「沢谷には沢登りがある。」と地域の人が誇りを持ってもらうことが出発点だったので、自分と想いを同じくする地域有志が積極的に手伝ってくれ、実現することができています。



「ハラハラドキドキ」スリル満点のスポット

県外からわざわざ来てくれたりしてとても賑わいました。これだけの集客があるということは、それだけ魅力的だということであり、沢谷の有望な地域資源であると考えるのではないのでしょうか。

今年から沢谷沢登り実行委員会を立ち上げ、地域有志とミートイングを行い、真剣に考えたものが認められて、とてもうれしいです。

自分は、今年度で地域おこし協力隊の任期は終わります。が、来年度以降も沢谷地域の沢登りに携わっていきたくと思っています。

今年で事業を始めて2年目となり、延べ60人くらいの県内外のお客さんに来てもらい、沢谷川の自然を堪能してもらいました。

今年から社会教育の視点を加え、子供向けのプランを作り、普段、川で遊べない子供たちと水中生物を観察しながら沢登りをしました。自然から学べるものは多いと思います。自然を楽しんでもらうことで沢谷地域を好きになってもらえたら嬉しいなと思っています。



スタッフのサポート体制も整っています

シリーズ 第4回

議会 Q&A?!

Q. 町議会だよりはどのようにして創られているのですか？

A. 目的

議会の活動をお知らせするために、町議会だよりを年4回の定例会後に発行しています。

配布状況

町内全世帯に配布しているほか、役場や大和事務所にも置いてあります。また、美郷町ホームページの町議会の中でもご覧いただけます。

主な掲載内容・構成

- ・ 定例会の概要と議決された主な議案の要旨
- ・ 提出された議案の質疑、一般質問の要旨、委員会審議結果
- ・ 可決された意見書・決議の要旨
- ・ 議案等に対する討論・表決の経過と結果
- ・ 住民の意見など
- ・ 議会からのお知らせなど

発行回数

年4回（おおむね下記の日程で発行しますが会期によっては発行日を変更することがあります）

- 第1回定例会号（4月20日）
- 第2回定例会号（7月20日）
- 第3回定例会号（10月20日）
- 第4回定例会号（1月20日）

取材・編集・校正

広聴・広報委員会では取材・編集・校正まですべてを行っています。



役者揃いの比之宮自治会

残暑厳しい、9月20日(日)「比之宮地区敬老会」が、交流センターで盛大に開催された。

初めに恒例の集合写真。女性の協力隊員が脚立に上りカメラを構えるが落ちそう

で、皆から「しゃーないか」「落ちんないよ!」と声がかかり和やかに敬老会が始まった。

町長の祝辞の中で美郷町の100歳以上の方は14人で人口割合では島根県一の長寿の町と紹介があった。「敬老の日」は、昭和29年に「としよりの日」として定められ、途中「老人の日」に変わり、昭和41年に今の「敬老の日」に改められたと聞いている。

オープニングは地域に古くから伝わる布施小唄、女性総出で殿かの中に落ち着いた踊りで、幕開けはいつもこれと決まっているそうだ。

ここからは、各自自治会が工夫



を凝らした演芸だ。子供も参加しておもしろい。プロ顔負けの兄弟が登場し、昨年も二人で踊りを披露したが本当にうまい。拍手喝さいであった。

席を立つて長寿の皆さんにお祝いを言ってる。「あんなー誰だったかいのー」「えっ!」持っていたビールが落ちそうになった。残念だが、比

之宮では人気がないなーと確信した。席を回っているとJA店舗のMさんから舞台上がって来いと声がかかる。舞台には宮内2地区の皆さんのほか町長、出席した議員が不安そうな顔で並んでいる。

何をするかといえば、早口言葉を言うそうだ。トップバッターは町長、「生麦 生米 な…」残念! 皆が挑戦するが、酒がまわりうまく言えないようだ。



「よし!」自分の番が来た、「※△■・□:※○:」…なさけない、酒のせいにしておこう。客席と舞台が一体となり、笑いの渦となった。企画が上手で感心する。

役者が多く楽しんだ敬老会は、最後に踊りグループのしゃんしゃん傘踊りで出し物は終了した。

今回で3回目の出席であった。地域の子供から大人まで全員が参加し、皆で長寿をお祝いする会の素晴らしさを感じ、来年の再会を祈念し、楽しい敬老会を終えた。

栗原記

編集後記

町長選挙も無事終了。「第2次・景山丸」の船出です。国や県との太いパイプや、過去4年間の実績が評価されての信任だと思えます。

しかし、三江線のバス転換や廃線後の跡地問題、リースハウスや再生可能エネルギー利用による雇用創出事業、大和荘のリニューアルなど、今後の課題は山積です。

真価が問われる2期目ですが、今回の新人候補の票を重く受け止め、幅広い住民の声を、今後の町政に活かしていただきたいと思います。

これまで私たちは、町民に開かれた議会、説明責任の果たせる議会にするために、基本条例の制定、議員定数の審査、議会中継などの議会改革に取り組んできました。

この度、議員の補欠選挙も終わり、議員定数も12人を満たし、議会も新体制での町づくりが始まります。今年3月に制定した美郷町議会基本条例の精神からして、もっと早い段階から、議員候補についての論議をすることはできなかったのか…。

皆さんの、自由闊達なご意見をお聞かせください。(藤原)

『議会だよりモニター』を募集します

町議会では、議会だよりを読んでいただき、感想や意見を聞かせていただく『議会だよりモニター』を募集します。皆様の積極的な応募をお願いします。



- 対象** 町内在住の18歳以上の方(H28年4月1日現在)※町職員は除く
- 内容** 意見書などの提出(年1回以上)
- 募集人員** 5人以内
- 選考方法** 地区・性別・年齢などの重複を考慮して選考します
- 期間** 2年間

- 申込方法** 議会事務局に来庁または電話(0855-75-1937)で申し込みください
- 申込締切** 平成28年12月20日(火)
- 問合せ先** 町議会事務局(TEL 0855-75-1937)

議員辞職

原 克美氏

自己都合による

平成28年10月2日付